



No.47

2020 April
[MISA会報 第47号]

- 第8回通常総会・講演会
- 事務局からのお知らせ
- 委員会活動報告
- 新入会員紹介

■発行/一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 仙台市青葉区上杉1-6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台5F 【TEL】022 (217) 3023 【FAX】022 (217) 3055 【E-mail】misa@misa.or.jp
■URL/<http://misa.or.jp> ■企画・編集/広報委員会 ■印刷/ハリウコミュニケーションズ株式会社



令和2年賀詞交歓会開催

新春恒例の賀詞交歓会が令和2年1月17日（金）TKPガーデンシティ仙台において東北経済産業局、宮城県、仙台市、関係団体からのご来賓を含め、会員皆様300名近くの出席のもと開催されました。

はじめに、協会を代表し石森会長より、新年の挨拶があり、JISA副会長の島田俊夫氏に「未来を明るくするために～新年念頭にあたり～」と題して、グローバル的な観点からITサービスに求められる変化など、ICT産業の活性化に向けた貴重な講演を頂きました。引き続き交流会に入り、ご来賓の皆様よ

りご祝詞をいただいた後、当協会小原副会長の乾杯の音頭により懇談となりました。

米中経済摩擦など景況感の不透明が続く中ですが、新春独特の華やかさも加わり、これまでにない多くの参加をいただき始終和やかな雰囲気の中、会員相互の情報交換や親睦を深める場となりました。中締めは経営委員会委員長の伊藤理事に三本締めの音頭をとっていただき盛況裏に終了することが出来ました。ご来賓、そして会員の皆様の多数ご出席いただきましたこと、心より御礼申し上げます。

新春講演会・賀詞交歓会 会長挨拶

一般社団法人宮城県情報サービス産業協会 会長 石森 令一



宮城県情報サービス産業協会会長を仰せつかっている石森でございます。年頭に当たり一言ご挨拶申し上げます。

皆さん、明けましておめでとうございます。令和最初の新春をこのように皆様と一緒に迎えることができました。まずもってお慶び申し上げます。

本日は、新春講演会並びにMISA賀詞交歓会に、ご来賓の皆様を始め多数の会員の皆様にご参加いただきまして誠に有り難うございます。

また、旧年中は当協会の事業活動に対しまして、格段のご支援ご協力を賜り誠に有り難うございました。ここ地元宮城に拠を構える会員の皆さまはもとよりですが、中央台から宮城に進出されこの地で活躍されている皆さまにも大変お世話になっております。あらためまして御礼申し上げます。

さて、昨年は、国内外、いろいろなことが起こった1年でしたが、経済を中心に少し振り返ってみますと、

まず、世界的には、米中貿易摩擦の激化、英国のEU離脱の現実化、日韓関係の悪化、北朝鮮の核開発動向、さらには年明け特に強まっている米国とイランの緊張関係など、国際経済については、不透明感が増しており、今後減速する可能性が高まるのではないかと予想されております。特に米中貿易戦争は、ファーウェイ製品の利

用禁止などITや新技術を巡る戦略的な様相となってきておりますし、GAFAをはじめ巨大IT企業の規制問題は、世界的な懸案事項となっております。

一方、国内経済ですが、10月の消費税増税（10%）がありました。今回は軽減税率の適用などで、前回（2014年）のような消費の深刻な落ち込みは避けられる見通しのようです。

全体としては、中国向けを中心とした輸出の低迷を背景に、製造業の生産活動は伸び悩んでいますが、良好な雇用情勢と賃金上昇により、個人消費は緩やかな回復が持続すると予想されており、2019年度のGDP見通しは、0.9%となる模様であり、2020年度は、1.4%と加速する見通しとなっております。

特に、人手不足や働き方改革などを背景に、AI・IoTなど、新たなIT技術への投資が好調であり、設備投資は増加基調が続く見通しとなっております。

東北地域においては、震災復興のシンボルとして新設された「釜石鶉住居復興スタジアム」でラグビーワールドカップの試合が開催され、海外からの旅行者の増加などで賑わいました。

その一方で、10月の台風（19号）による記録的な大雨により、河川の堤防が決壊し、市街地や工業団地が浸水するなどして、地域の交通網や製造業の供給網に大き

な打撃となり、地域経済への影響は大きいものとなりました。

このようなことから、東北経済は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、全体として足踏み状態となっているようです。特に中小企業が大半を占める地方においては、海外景気の下振れリスク等に大きく左右されることから、留意して対応していくことが必要と思われます。

このような状況の中、情報サービス産業を巡る環境は、新たな元号令和となり、デジタル化やモバイル化、少子高齢化などの変化に応え、どう社会と産業の形を変えて対応してゆくかを問われる時代となっております。今、ITによる変革をリードしているのは米国や中国の企業といわれています。彼らに遅れることなく、単に新しい技術に精通した人材だけではなく、これまで培った業務知識を活かし、新たな価値を生み出すために「ITをどう使いこなすか」を考える人材が必要となっております。そのニーズに応えるため、一人一人が工夫を重ね、時間を創出し、知識やスキルの幅を広げていく、それこそが生産性を高める人の営みであり、働き方改革の意義でもあります。ビッグデータとAIによって、これまでの仕事のやり方、求められるスキル・能力がすべて変わる、そのような新しい時代を迎え、IT化による影の部分の補いながら、IT化による光を社会に照らしていくことがこれからのIT産業の使命ではないでしょうか。

また、今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催される特別な年であり、セキュリティが最重要視されるとともに、次世代ネットワークである5G（第5世代移動通信システム）のサービス提供開始も予定されており、コミュニケーションの世界において、あらゆるものが繋がる新たな時代が始まります。

このような環境から当地域におけるIT産業の市場環境も大きな変化の潮流期を迎えており、市場の首都圏一極集中化が加速する中で、地域が繁栄し、競争力を持ち、安全・安心で持続するための地方創生を推進する上で、

新春講演会・賀詞交歓会 来賓挨拶

東北経済産業局地域経済部次長 柏 芳郎 様



日頃から経済産業政策の推進に際し格別なるご理解・ご協力をいただき改めて御礼申し上げます。

さて、東日本大震災から間もなく9年が経過し、この間、関係者の皆様のためめめ努力により、復旧・復興は

地域IT産業の役割は、さらに重要になってきております。我々地域IT産業は、地域経済を支え、リードする「基幹産業」としての期待と役割が求められていると言えます。

これらに的確に対応していくためには、「個々の企業単位では対応できない諸課題に個別の企業の枠を超え結束して取り組んでいく」ことがますます重要となってきており、宮城県情報サービス産業協会としての中長期的視点立った新たな対応・強化が求められているものと改めて認識しているところでございます。

そのため現在、政策提言委員会を中心に新たな中期事業計画（2020～2022年）も策定中でございます。中計に掲げたMISAスピリット実現に向けご協力を頂くとともに、是非とも会員の皆様には、積極的に参加して頂きまして、全員参加型でさまざまな課題に取り組むことを通して、協会に加入するメリットを享受いただければと念願している次第であります。

昨年はラグビーのW杯が日本で開催され、にわかファンも増えましたが、ONE TEAMという言葉が流行語大賞にも選ばれました。これは本来の意味は、国籍を問わずに個性豊かな選手達が集って心一つにして戦ったことを言いますが、MISAの会員企業さまも各企業さまの持つ多様な技術力や個性、長所を生かしつつ、しっかりコミュニケーション・信頼関係を築きながら、ONE TEAMとなって取り組んでまいりたいと思っております。

皆様方からの一層のご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本日は、この後、島田様より「未来を明るくするために」というテーマで講演をいただくこととしており、IT業界の明るい話題もお聞きできるのではないかと思います。島田様には大変お忙しい中、誠にありがとうございます。どうかよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、ご参集の皆様のますますのご繁栄をご祈念申し上げ開会にあたっての挨拶といたします。

着実に進展してきております。

こうした中、昨年10月の台風19号などで、東北に甚大な被害をもたらしました。政府といたしましては、「15ヶ月予算」の考え方を基に東京オリンピック・パラ

オリンピック後も見据えた経済活力の維持・向上など、これらを柱とした「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」に基づき、予備費を含めました令和元年度の予算、補正予算、令和2年度の臨時・特別の措置に適切に取り組み、当面の需要喚起に止まらず民需主導の持続的な経済成長や災害からの復旧・復興と安全・安心の確保を図っていくこととしております。

私ども経済産業局といたしましても、台風被害からの一日も早い復旧に向け、東日本大震災の復興と合わせて取り組んでまいり所存でございます。

一方、情報技術分野に目を向けますと、近年のIoT、AIなど急速なデジタル技術の進展により、国民生活やビジネスにおいても大きな変革をもたらすなど、IT産業は基幹産業として大きな役割と期待が求められております。

加えて、東京オリンピック・パラリンピックを控え、サイバーセキュリティ対策の強化の重要性が高まるなど、情報サービス産業の果たす役割はますます大きく

なっております。これらのニーズに対応するため、情報サービス産業の働き方改革の推進やIT人材の確保・育成は不可欠となっております。特に人材確保に当たっては、これまでの職歴にとらわれず、意欲と能力を持っておられる方を積極的に中途採用することも必要と思慮しております。これまでなかなか進んでこなかった就職氷河期時代の方々に活躍の場を提供していただくことも有効な手段の一つと考えておりますので、皆様方のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

宮城県情報サービス産業協会におかれましては、引き続き県内における情報関連技術の利用促進、推進向上並びに人材の育成、普及啓蒙など高度情報化の促進並びに地域社会経済の発展に寄与されますことを期待申し上げます。

最後になりましたが、本年がMISAにとって更なる飛躍の年になりますとともにご参会の皆様のご健勝・ご多幸を祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。

新春講演会・賀詞交歓会 来賓挨拶

宮城県経済商工観光部国際経済・観光局長

小谷野 善之 様

皆様方には、日頃より本県の情報サービス産業の振興と発展に多大なるご尽力を賜りますことに敬意を表しますとともに、本県の各種施策の推進にご支援、ご協力を頂いておりますことに対し心から感謝と御礼を申し上げます。

また、先ほど認定させていただきましたけれども、今年度、宮城認定IT商品の認定を受けられました3社の皆様におかれましては、改めてお祝いを申し上げたいと思っております。県といたしましても、本認定が皆様の今後の更なる発展の一助となりますよう引き続き支援に取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。

さて、情報産業分野におきましては、次世代通信規格「5G」の活用が期待されております。今後、これらを中心とした地方創生や産業創出など様々な施策展開を図るとともにやAI、IoT等の技術活用による地域や事業者が抱える問題解決を図ることが必要となっております。そのため、IT人材の確保・育成はさらに重要になってきていると思っております。



そういった関係から、貴協会のご協力を得ながら新卒者、また未経験者向け研修、さらに第4次産業革命に向けた新たなビジネスの担い手を育成する地域高度IT技術者育成事業というものにも取り組んでいただいているところでございます。

おかげさまで、この事業につきましては、他県からも注目を浴びてございまして、県内の受講された企業様からも高い評価を頂いていると聞いてございます。

また、IT産業は富県宮城の推進に欠かせない分野だと思っておりますので皆様にはその担い手としてのご活躍を期待しているところでございます。

今後も創造的復興、富県宮城の実現に向けて皆様との連携のもと推進してまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

最後になりますが、MISA会員企業の皆様の企業業績のますますのご発展と本日ご参会の皆様の実りある1年となりますようご健勝・ご活躍をご祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。

新春講演会・賀詞交歓会 来賓挨拶

仙台市経済局次長 岩城 利宏 様



MISA会員企業の皆様には会長さんの強いリーダーシップのもと日頃から本市における情報サービス産業の振興・発展に多大なるご尽力をいただき心より感謝申し上げます。

本日は私のほか、日頃お世話になっております産業振興課の課長、係長、担当者2名が出席させていただいております。ぜひとも職員を最大に活用していただき皆様の業務に活かしていただければと思っておりますし、私共も知恵を出し合って、仙台、東北の情報サービス産業の振興に頑張ってもらいますので本年もよろしくお願いいたします。

先日、仙台市の郡 和子市長が年頭の記者会見で話しておりますけれども、今年は「子年」新しい十二支サイクルの一番初めの年に当たります。子年のネズミは、「芽を吹き、新たな成長の始まり」という意味もあるようでして、仙台の未来に向けた新しい動きをどんどん創り出していく、そのような1年にしたいと述べ、今年の1文字として創造の「創」という字を掲げておりました。

新しい社会を創っていくためには、まさにIoT、AI、5G、ロボットなど新しい先端技術活用は欠かせなく今後皆様方のお力が必要になってくるものと考えております。本市といたしましても、昨年策定しました地域経済の成長戦略、「X-TECH（クロステック）」を推進し、取組の基盤となるICT産業の更なる振興、高度ICT人材の確保・育成に取り組んでいるところでござい

ます。

健康福祉医療分野では、フィリップス・ジャパンさんと東北大学病院さんと連携し、オープンイノベーションを目指すヘルステック事業を昨年4月から開始し、地域のIT企業を含む40社以上の皆様と新たなビジネスプランの創出や事業化に向けた支援を行っております。防災・減災分野では、昨年、本市と産業連携協定を結んでおります、国交樹立100周年を迎えましたフィンランドのICT企業8社を11月に招き、地元IT企業15社との個別商談会を実施しております。また、ICT人材の確保に向けましては、12月に台湾トップクラス大学の学生を対象とした合同企業説明会を開催、来月には地場IT企業25社による新卒学生向けの業界説明会なども仙台で開催予定としております。

これらの取組には多くのMISA会員の参画を頂いておるところでございまして、大変感謝を申し上げます。

情報サービス産業の振興に向けては、経産局、宮城県、東北大学などの関係機関、MISA会員企業の皆様と一体となり、新事業、新産業を生み出す創造の取組を加速してまいりたいと思っておりますのでご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

結びになりますが、MISAのますますの発展並びにご参会の皆様のご健勝を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。



講演会

「未来を明るくするために ～新年念頭に当たり～」から一部抜粋

一般社団法人情報サービス産業協会副会長 **島田 俊夫 氏**



1. 世界の潮流

(中国雑感)

2018年秋に中国に行って、まず感じたことはオンラインのみでは商売は成立しないという概念です。とにかくオンラインとオフラインをどううまく活用するか、オンラインだけでは絶対ビジネスがうまくいかないという明確な考え方です。

それからデータについては、市場に不要なデータを管理しているITシステムは淘汰されるということです。つまり使えるデータなのか、使えない形になっているデータなのか最も重要視されています。このことから日本のデータは使える前段階に多々あるという現状にあるのかもしれない。

また、中国はスピード感が全く違います。5分経ったら5分前はリアルタイムじゃないという感覚なので日本のリアルタイムとは印象が違います。つまり5分で変容する消費者ニーズをどうやって捉えてサービスを変えていけるかということなので、システム仕様を決める云々以前の問題に、ユーザーインターフェースも含めてとにかく売るためのものに非常に注力していく、ここが最大に日本と違うなという印象でした。とにかくいくら品質が良くてもスピードが遅れたらいいものではないという価値観の違いです。

ただ、マーケットが違うので、中国と同じことを日本でやる必要は全くないと思いますが残念ながら世界に占めるGDPは5%しかない。世界から見ると小さなマーケットの中でサービスを続けることになるのでやはり「最大の品質はスピード」なのかもしれません。

平成のランキング30位以内の大半が日本企業という

残像があるので、中国に対し対抗心もありますが、米日競争や中日競争ともいわれていない米中競争の現実を見ると最大大国を無視していると、日本だけが何か違った世界の中で広がっていくのはどうかなという思いもあります。

(エストニア雑感)

エストニアは行政サービスが完全電子化されています。「100万人一寸の小さい国だからできるだろう」みたいな声もありますが、日本でも100万人都市はいくつもありますが都市だけでやっているところは1個ありません。ここ30年分厚い経済に支えられた日本は何かあると「そういう国は小さいから」「文化が違うから」と言っているだけで本当にいいのでしょうか。いずれにせよ、エストニアはロシアに攻められちゃいけないということもあって行政を電子化したのではと揶揄する声もありますが、国がなくなっても電子行政機能は残るので、それはかなり都市伝説ではと思います。

今本気で電子行政を進めていて、ヨーロッパと渡り合おうということでフィンランドと医療データの共有が始まっています。ですからフィンランドに行ってスキーでケガをしそこで治療を受け、エストニアに帰って治療を続けたとしてもレコードが共有されており治療の簡素化が図られるというものです。これをEU全体に広げるかどうかは未知数ですが、ただ、EUはイングランドが離脱しますがヨーロッパ全体ではデジタル単一市場にしようとする動きがあり、通貨は既に共通化しています。デジタル情報の共有化が進むと一大デジタル共有圏が出来、世界のマーケットが大きく変わっていくことになり日本でも「よその国のことだね」と言っているいいの



なというところに来ているのではとの印象です。

2. 我が国の動き

今、だれもが目にしてはいる通り、DXレポート「2025年の崖」があります。2025年までに俗にいうレガシーシステムから脱却しないと、DXが実現しないばかりか、最大で12兆円の経済損失が生じるとしています。これは異論もありますが、一方、世界レベル的にはレガシーシステムを持っていない国はどんどんデジタル化を進めていますので事実な面もあると思います。しかし、日本にはまだまだ多くのレガシーシステムが存在していますので安心感があるのも事実です。前述しましたが日本のGDPは世界の5%です。我々は日々5%の真実の中ものを考えているきらいがあり、残り95%は違う経済圏が発達しており、日本で起きているこの問題は我々も含めてレガシーシステムなんか捨てられないわけがないという意見もあります。また、30年もかけて構築してきたレガシーシステムを見ている限り、相当勇気がないと大企業でもこれを変えようとするのが難しい気がします。

ただ大きな流れとしてはレガシー脱却の方向に来ていますので、恐らく相当部分我々の今の仕事が減るとい

ことです。でも少なくともレガシーをお守りするというのは、どう考えても2025年まではメンテナンス作業が伴いますので、逆にレガシー特需で潤うとの見方もあります。しかし、2026年以降はどうか予測がつかないのも事実です。我々ITベンダーの大きな変革が求められています。

3. 社会と経済のデジタル革命

デジタル革命は、我々にチャンスをもたせようというのは事実ですが、残念ながら日本はその先頭集団にはいません。デジタルについては、明らかにGAFAsです。昔、家電市、最近デジタル市になった「CES」もほぼGAFAsです。このような現状を見ると我々は我々仲間だけ見ていると進化に乗り遅れることになります。デジタル革命の流れは決して特殊なものではない、そしてブームで終わるのでもないということをしっかりと捉えるべきだと思います。

少なくとも、お金の支払い方が変わり、自動車が売り切りのモデルでなくなるみたいな時代になると、我々に発注されるものも、要求されるものも変わり収益モデルが全く変わってしまいます。要するに我々はデジタル革命に對峙していく覚悟が必要だということです。



ITで、
感動を、
ともに
感じたい。

私たちTOINX(トイックス)は、ITで実現する新たな価値を地域社会に届け続けます。

ともに手をとりあい、どんな時も誰よりも近くで、しっかり支え、キッチリ守ります。

さらに、一歩踏み込んだ提案をし、期待をこえる感動を届けます。



東北インフォメーション・システムズ株式会社 トイックス

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央二丁目9番10号 セントレ東北

TEL 022-799-5555 FAX 022-799-5561

2020年度 委員会別事業計画

※新型コロナウイルス感染拡大により中止または延期となる場合があります。

委員会名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
経営 (企画G)			・理事会(第33回) ・第9回総会 ・講演会&パーティ		・顧問・参与懇談会 ・事業運営会議(第2回)		・IT商品カタログの整理・検討		・事業運営会議(第3回)	・理事会(第34回) ・賀詞交歓会 ・講演会		・理事会(第35回) ・事業運営会議(第4回)
経営 (経営G)	・経営強化 ・会員企業の現状調査分析 ・親睦ゴルフ大会(春季)	テーマ選定 ・フォローアップ(実施内容検討) ・MISA交流サロン		講師依頼 ・Misaliy女性交流会		・MISA交流サロン	・親睦ゴルフ大会(秋季)	・交流サロン		・法的問題対応セミナー ・Misaliy女性交流会		・MISA交流サロン
人財 (確保G)	・学生向け啓蒙活動 (1)業界研究講座(随時) (2)インターシッ ・企業向け支援活動 (1)採用支援・人材紹介 (2)企業情報提供 ・教育機関との連携 大学等との連携会議他 委員会		(随時対応) ・連携会議		・インターシッ体験型実践的研修	・新卒対象企業説明会	・UIJ連携事業支援					・新卒者対象企業説明会・UIJ連携事業支援 ・連携会議
人財 (育成G)	・新入社員向け研修 (認定職業訓練) ・中堅社員向け研修 ・技術研修(技術向上セミナー) ・人材育成活用分科会(毎月開催) ・次世代研修 委員会	研修実施	・新入社員研修・特別企画 (準備)		・技術紹介	・ステップアップ研修 ・中堅社員研修(1)	(次年度計画検討) ・実践研修	○会員アナウンス	・中堅社員研修(2) ・技術向上セミナー ・中堅社員研修(3)		(準備)	
福利厚生	・交流・レクリエーション関連 ①スポーツイベント等開催 ②船釣り大会開催 ③新企画・検討 ・ヘルスケア ・福利厚生事業の広報活動 委員会	①スポーツイベント等開催 ②船釣り大会開催 ③新企画・検討 ・新人向研修 (HP、情報誌等活用による広報展開)	・フットサル開催(夏大会) ・船釣り大会①	・企画検討会	・ヘルスケア研修会	・船釣り大会② ・企画検討会	・フットサル開催(秋大会)	・企画検討会	・船釣り大会③	・企画検討会		
事業共創	・異業種研究会(交流会)への参加 ・ビジネスマッチ活動 ・大学・行政連携タスク ・新研究会テーマ(新規ビジネス研究会・農商工ビジネス研究会) 委員会		(みやぎ工業会活動への参加)			・異業種交流セミナー		・イベント開催				
ビジネス推進	・ビジネスチャンスの創出・地域貢献 委員会											
グローバル ビジネス		(開催内容の検討)		・準備作業								・ICTカンファレンス2021
広報	・情報誌発行(第47号) 委員会							・情報誌発行(第48号) 委員会				
政策提言	・政策提言検討推進等 ・中期計画の円滑な推進											
組織基盤強化	・産業構造変化への対応等									・理事会報告		
事業運営強化	・地域高度IT技術者の確保・育成											

委員会報告

第8次中期事業計画が策定！

政策提言委員会

第8次中期事業計画（令和2年～4年度）概要

1. 目指す姿（Vision）



『ICTを地域の力に』

～地域の明日を担う魅力あるICT産業を目指して～

他地域・他産業・官・学と連携・協力し
ICTの力を地域社会の未来に役立てるとともに
地域の特性を活かしてICT産業の振興を図り
ICTビジネスの拡大をととして地域の発展に貢献します

Copyright © MISA All Rights Reserved. Page 0

2. 環境認識

☆MISAに関する現状認識

- **MISAプレゼンス向上と地域振興** / 各方面にMISAの存在が認知されつつあり、当地域への進出を支援している宮城県や仙台市との連携・協力も進んでいる。また、県外から進出してきた企業を含めMISAの新規会員も増傾向にある。今後も地域ICT業界団体として、東北経済産業局、東北総合通信局、宮城県、仙台市の関係当局と良好な協力関係を構築し、MISAから地方行政に対して積極的に政策提言や協同企画提案を働きかけ、より地域振興に貢献出来る様努力が必要。
- **会員企業の活力向上** / 会員企業への優良な情報提供と各委員会が企画するサービスやイベント情報に参加を呼びかけ、会員企業の活力向上を図る。
- **MISA運営基盤の強化** / 東北最大のICT業界団体として、将来にわたって会員企業や地域貢献に積極的に応えていくために、土台となる強固な組織と財政基盤を築いていく。一方、事業運営においては、事務局と各委員会により活発で安定した運営が行われている。これらの事業を円滑に運営できているのは、各委員会に所属する中核メンバーの献身的な協力とチームワークによるところが大きい。近年では会員向けサービスなど事業内容の拡大や質向上に向けて組織・事務局体制を継続的に活性化している。
- **MISA会員企業のコミュニケーション強化** / ここ数年、積極的に若手人材の登用を進めてきた結果、その成果が出始めてきたが、さらなるMISAの発展には、より一層、多様な若手人材の登用・育成が必要不可欠である。MISAが発信している情報は、委員会の人的なネットワークを介して伝わるが多いため、委員会に所属していないと有益な情報を入手しづらい。また、MISAの情報を入手できるのは、会員企業の代表者や各委員会メンバーに限定されており、会員企業の一般社員は、MISAの事業についてほとんど知る機会がないのが実態である。

Copyright © MISA All Rights Reserved. Page 1

3. MISAが取り組むべき課題

- (1) **政策提言によるMISAのプレゼンス向上**
今後も地域ICT業界団体として、東北経済産業局、東北総合通信局、宮城県、仙台市の関係当局と良好な協力関係を構築し、MISAから地方行政に対して効果的な政策提言や協同企画提案等定期的な働きかけが必要となっている。
- (2) **地域ICT利活用を推進し地域振興を推進**
地域ICT利活用促進をうたいながらも、地元企業に対してICT利活用を推進できていない。地元企業の経営体質強化に向けて積極的なICT活用策を推進し地域振興が求められている。
- (3) **ICT業界の認知度・魅力度向上**
前述のICT人材推計やデジタルシフトによる産業構造の変革時代に対応できる人材不足は深刻な状況にあり、ICT業界の認知度・魅力度向上に努め、地元みやぎで働く人材の確保が急務である。
- (4) **先進技術を活用できる教育支援**
人手不足への対応や働き方改革の推進もありデジタル技術の活用による生産性向上・ビジネス拡大への期待がある。また、新たなデジタル技術（AI、データアナリティクス、クラウド、ソーシャル技術など）の浸透により新たな価値を生み出すデジタルトランスフォーメーション（Digital Transformation）による産業構造変革に対応できる人材育成が急務である。
- (5) **会員企業の活力向上とコミュニケーション強化**
経営基盤強化に役立つ最新の技術情報や有用な経営情報などの会員向け事業サービス（教育研修・福利厚生・経営支援）による会員企業の活力向上や、会員企業間のコミュニケーション強化による継続的な経営基盤強化が求められている。
- (6) **MISA組織・運営基盤の強化**
地元ICT業界団体として、将来にわたって会員企業や地域貢献に積極的に応えていくために、安定した財務基盤の構築を目指す。その為の各種施策や効果的な委員会組織運営への取り組みが求められている。


Copyright © MISA All Rights Reserved. Page 2

4. MISA-VISION実現に向けての当面の施策

- (1) **ICT業界の認知度及びMISAのプレゼンス向上**
ICT業界は、過去のネガティブなイメージから有望な職業へと認識されつつあり、就職志望者は増加傾向にあるが、まだまだ認知度・魅力度は低い。これまでの教育機関との取り組みによりMISAのプレゼンス向上は一定の効果を見せているが、今後もより一層教育機関と連携し就職を控えた大学生・専門学校生への啓蒙活動による認知度・魅力度向上に取り組む。
- (2) **積極的な人材の確保・育成**
大手志向、安定志向の学生も多く、地元の中小規模企業は苦戦を強いられている。一方で企業規模・所在地によらず選ばれる企業もある。会員企業が情報発信できる「伊達ICT・WORK」サイト運営、インターンシップ企画、さらには合同企業説明会による採用機会を支援する。
先進技術（AI、データアナリティクス、情報セキュリティなど）を活用できるエンジニア育成が地域と比へられている。今後、確実に進捗する先進技術によって産業構造の変革に対応できる高度ICT人材を教育機関と連携し育成に取り組む。また、人材確保を支える基礎教育の支援と継続的かつ横断的な教育支援策に取り組む。
- (3) **地域中小企業のICT利活用推進**
地元企業が加速するDXによる産業構造変革に対して積極的なIT活用策を産・学・官・他団体との連携しながら事業共創策、研究開発支援策に取り組む。
- (4) **MISA組織・運営の強化**
現在行われている会員企業向けの各事業の再評価・再検討・追加検討を行い、協会事業運営をより深化させ、限られた予算の中でより一層会員企業への貢献・効果が高いものにする。
また委員会組織運営には継続的に組織改革を推進する。

Copyright © MISA All Rights Reserved. Page 3

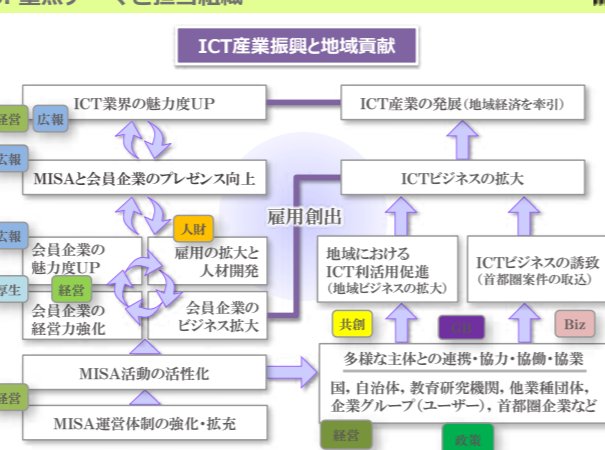
5. Vision実現イメージ



- 都道府県別売上高順位 **6位**
- ICT人材 **1.5万人増** (現在の2.5倍)
- MISAを中核とする“やわらかい”連携ネットワーク **500社超**
- ICT利活用を推進して地域に貢献
- 地域のお客様
- アジア諸国の政府・ICT企業
- 他ICT関連団体
- 他ICT関連団体(県外)
- 教育研究機関 生徒・学生
- 国
- 自治体
- 首都圏大手Sier
- ICT系研究会・コンソーシアム
- 他業種団体・研究会

Copyright © MISA All Rights Reserved. Page 4

6. 重点テーマと担当組織



ICT産業振興と地域貢献

- ICT業界の魅力度UP → ICT産業の発展(地域経済を牽引)
- MISAと会員企業のプレゼンス向上 → ICTビジネスの拡大
- 会員企業の魅力度UP / 会員企業の経営力強化 → 雇用創出 → 地域におけるICT利活用促進(地域ビジネスの拡大) → ICTビジネスの誘致(首都圏案件の取込)
- MISA活動の活性化 → 多様な主体との連携・協力・協働・協業
- MISA運営体制の強化・拡充 → 国、自治体、教育研究機関、他業種団体、企業グループ(ユーザー)、首都圏企業など

Copyright © MISA All Rights Reserved. Page 5

委員会報告

「お酒 × IT × 地域」 アイデアソン

事業共創委員会

事業共創委員会では2020年2月に、ITを活用した新たな価値の創造、他業種との課題共有と人材交流・創発をねらいとして、第2回のアイデアソンイベントを開催しました。



<「お酒 × IT × 地域」 アイデアソン>

- 開催日：2020年2月22日（土） 9：30～18：00
- 場 所：EARTH BLUE 仙台勾当台 会議室
- 参加者：MISA会員企業のメンバーほか 27名

第2回となった今回は、秋保ワイナリー（株）仙台秋保醸造所、「浦霞」醸造元の株佐浦の関係者にご参加いただき、地域密着への取組や今後の課題などを共有した上で、参加者がグループに分かれ、さまざまなアイデアを出し合い、新たな価値の創出に取り組みました。

ファシリテータのリードで異業種や年齢層も異なる初対面のメンバーもすぐに打ち解け、ユニークな発想や意見が飛び交い、各チームとも非常に活発な議論が行われました。最後のチーム別プレゼンでは、寸劇での発表チームもあり、多様な視点から課題への解決案が発表され、とても充実した時間となりました。

イベントにご参加、ご協力いただいた皆様へ感謝申し上げます。

<受賞チーム>

◆MISA賞、浦霞賞 ※ダブル受賞

- ・Misty Boys チーム
- 「浦霞男子」



◆秋保ワイナリー賞

- ・けんちゃんマリアーージュ チーム
- 「未知の体験と感動と出会いたい人に、その人のためだけにマリアーージュを提供する」



委員会報告

ICT Conference 2020

グローバルビジネス委員会

令和2年2月13日（木）にエルパーク仙台においてMISA主催 ICT CONFERENCE2020を開催しました。今年は企業に於けるサイバーセキュリティ対策の重要性と課題を広く多くの皆様と学びを深めようと、講師に株式会社日立製作所顧問 時藤和夫氏（工学博士）をお招きし「IoT、5G、インフラと拡大するサイバーセキュリティリスクにどう向かい合うか？」と題し、講演いただきました。来たる5G時代の通信速度や容量の飛躍的向上、同時多接続の実現など、様々な応用分野において便利さが進む反面、他方それに比例し飛躍的に拡大するセキュリティリスクの実像のお話に、来場者の熱心に聞き入る姿やメモをとる姿が多くみられ、盛況の会となりました。



来場者は当日参加者も含め71名にのぼり、同分野への期待と関心の高さが窺われ、MISAとしてサイバーセキュリティ分野への取り組みがますます期待される会となりました。



委員会報告

2019年度 MISA中堅社員向け研修

人財委員会

人財委員会育成Gでは、MISA会員企業の中核となり将来を担う中堅システムエンジニアの育成を目指し、「中堅社員向け研修」を開催しています。

開発プロジェクトの最前線に立つ入社10年前後の中堅エンジニアには、開発スキルに加え、リーダーシップを発揮することが求められるようになり、それは同時に、中堅エンジニアにとって大きな悩みの一つでもあります。MISA中堅社員研修では、そのようなニーズに応え、「チームマネジメント」や「メンバー指導」を中心に構成しています。さらに、2019年度は新たに「ビジネスマインド強化」「ロジカルシンキング」を開催しました。

「SEのためのチームマネジメント」研修では、①リーダー職としての果たすべき役割の再確認、②マネジメント機能のポイントを学習、③参加者自身の価値観の点検と変革の促進、の3点を狙いとして理論と実践、さらに講師の豊富な体験談をちりばめたカリキュラムで開催しました。

受講者からは、「リーダーのあり方について、自身の経験（自論）でしか捉えていなかったことに気づけた」「これからリーダーになる人にも1歩先の目線でものを考える為に受講してほしい」といった声が聞かれました。

2020年度も、受講企業からのご要望等をもとにテーマ・カリキュラムを更新のうえ実施予定です。

<2019年度MISA中堅社員向け研修 開催実績>

No	研修名	開催日	参加人数	満足度
①	SEが知っておきたいビジネスマインド強化研修	2019/07/23	10社15名	100.0%
②	ロジカルシンキング研修	2019/09/06	11社15名	93.3%
③	SEのためのチームマネジメント研修	2019/09/10～11	9社19名	88.9%
④	管理者・リーダー養成研修（課題解決思考編）	2019/11/19	11社18名	64.7%
⑤	人に教える技術	2019/12/05～06	10社22名	100.0%
⑥	管理者・リーダー養成研修（組織マネジメント編）	2020/01/22	10社26名	100.0%



<企業に求められる新型コロナウイルス感染防止の重点対策>

- ☆手洗い・マスク着用の徹底・アルコール消毒の励行
- ☆職場での対人距離
- ☆来訪者管理の徹底
- ☆不要な外出や対面会議を避ける

- ☆通勤時間の変更（オフピーク通勤など）
- ☆備蓄品の確保（消毒用アルコールなど）
- ☆従業員の健康管理（検温、出社制限など）
- ☆感染した場合の対応策や連絡体制づくり等

委員会報告

第17回 MISA会長杯フットサルMリーグ秋大会

福利厚生委員会

第17回MISA会長杯フットサルMリーグ秋大会を10月26日（土）リベラ鶴巻で開催しました。

朝から雨であいにくの天候でしたが、M1（エムいち）8チーム、M2（エムに）8チーム、M3（エムさん）は、5チームの21チーム232名の参加による戦いとなりました。

本番に先立ち10月9日（水）にはキャプテン会議を開催し各クラスの昇格・降格ルールのもと、M1、M2、M3の κατηγοリーを決定しました。試合は、年々全体のレベルが底上げされてきており、各カテゴリーで熱戦が繰り広げられました。

結果は、M1がコンピューターマネジメントチーム、M2がケーヒンエレクトロニクステクノロジーチーム、M3がコンピュータサイエンスチームの優勝で終了しました。試合後は恒例のお楽しみ豪華抽選会を開催し、参加全チームの皆様には試合の思い出のほかにお土産をお持ち帰り頂きまして、盛況のうちに大会を終了することができました。

今大会はこれまでの大会に比べ怪我人が多く、ヒヤッとするような場面もありましたが、引続き皆様ご安心・安全にお楽しみ頂ける楽しい大会となるよう委員会一同趣向を凝らして参ります。この歴史ある大会がこれからも親しんで続けられますように各チームも絶大なるご協力をお願いいたします。



◆M1 結果

- 優勝 コンピューターマネジメント(株)
- 準優勝 (株)NTTデータ東北
- 3位 東北インフォメーションシステムズ(株)
- C優勝 (株)NID東北

◆M2 結果

- 優勝 (株)ケーヒンエレクトロニクステクノロジー
- 準優勝 (株)SRA東北
- 3位 (株)フリースタイル
- C優勝 東北NSソリューションズ(株)

◆M3 結果

- 優勝 (株)コンピュータサイエンス
- 準優勝 (株)東北電子計算センター
- C優勝 富士通エフ・アイ・ビー(株)
- ※C優勝：コンソレーション優勝（敗者復活戦）



M1優勝 コンピューターマネジメントチーム



M2優勝 ケーヒンエレクトロニクステクノロジーチーム



M3優勝 コンピュータサイエンスチーム

委員会報告

第37回MISA親睦ゴルフ大会

経営
委員会

■開催日：2019年10月19日（土）

■場 所：西仙台カントリークラブ

第37回MISA親睦ゴルフ大会は、宮城の名門「西仙台カントリークラブ」にて開催しました。

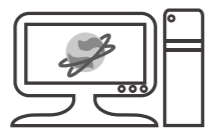
当日は、生憎の雨でしたが、14組47名が参加し、日頃の腕前を競い合い和気あいあいと会員間の親睦を深めるゴルフ大会となりました。

【成績】（敬称略）

●個人戦	NET	HC	
優勝：伊藤 倫泰	(73.8)	(19.2)	(株)メディア・サポート
準優勝：菊田 明洋	(74.6)	(8.4)	(株)ソフトエイジ
第3位：穴沢 芳郎	(74.8)	(13.2)	MISA事務局
第4位：大橋 重男	(75.4)	(15.6)	NECソリューションイノベータ(株)
第5位：高橋 義治	(76.6)	(20.4)	(株)ティー・エス・シー
●団体戦（上位3名のNET合計）	NET計		
優勝：大橋 重男、瀧原 宏行、阿部 匠	233.8		
準優勝：佐々木 勇、須藤 繁明、朽木 恵音、熊谷 健児	239.8		
第3位：小倉 博文、橘井 恵治、富永 竜一、鈴木 裕士	240.4		

最先端と人をつなぐ
貴方のベストパートナーComputer
Management

コンピュータマネージメント株式会社

ゼネラル
ソリューションサービスERP
ソリューションサービスインフラ
ソリューションサービス

https://www.cmknet.co.jp

仙台営業所

〒980-0014
宮城県仙台市青葉区本町
一丁目5番28
カーニープレイス仙台駅前通ビル4階
TEL 022-714-6550
FAX 022-714-6553

本社

〒552-0007
大阪府大阪市港区弁天
一丁目2番1号
Bay Area 大阪ペイタワー15階
TEL 06-4395-1000（代）

東京本社

〒100-0005
東京都千代田区丸の内
一丁目8番2号
鉄鋼ビルディング9階
TEL 050-3538-6000（代）宮城県からのお知らせ
「みやぎ発展税」の活用実績と成果について紹介します

「みやぎ発展税」活用施策

1 | 産業振興

- ①企業集積促進
- ②技術高度化支援
- ③中小企業・小規模事業者活性化 **新**
- ④人材育成促進
- ⑤人材確保支援 **新**
- ⑥地域産業振興促進

みやぎ企業立地奨励金

県内に工場などを新増設した企業に対し奨励金を交付しました。

- 交付件数：18件[平成30年度]
- 立地件数：150社[平成21～30年度累計]
- 奨励金による新規雇用者数：16,605人[平成31年4月現在]



石巻市に立地した調理冷凍食品の製造を行う総合食品企業のマルハニチロ株式会社

生産現場改善強化支援事業

県内ものづくり企業の生産現場における生産性改善等の取組を支援しました。

- 生産現場改善支援：12社 [平成30年度]
- 生産性向上設備導入等支援：7社 [同上]
- 現場改善セミナーの開催：6回181人 [同上]



生産現場改善活動支援の様子

2 | 震災対策

- ①災害に対応する産業活動基盤の強化
- ②防災体制の整備

宮城県防災指導員養成講習

地域や企業における防災リーダーを養成する講習などを行いました。

- 地域防災コース：623人受講[平成30年度]
- 企業防災コース：30人受講[同上]
- 養成講習等延べ受講者数：延べ9,294人[平成20～30年度累計]

「みやぎ発展税」は、「富県宮城の実現」に向けた産業振興や、震災の被害最小化に向けた対策を推進するため、平成20年3月から実施期間を5年間とする法人事業税の超過課税制度として導入しました。

この成果として、自動車関連産業や高度電子機械産業、食品関連産業などの企業集積が進展したほか、橋や建物などの耐震化が進み、東日本大震災でも大きな被害を免れ、迅速な復旧に大きく貢献しました。平成24年度に実施期間を5年間延長し、引き続き産業振興や震災対策に取り組んできました。

平成29年度には、実施期間を更に5年間延長し、平成30年度からは「中小企業・小規模事業者活性化」と「人材確保支援」の2つを施策の柱に新たに位置付け、これまでよりもさらに手厚い取組を進めています。ここでは、主な事業実績と成果について、ご紹介いたします。

詳細は下記URLでご確認下さい。

URL <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukensui/30hattenzei-houkoku.html>

「みやぎ発展税」の概要

課税期間	平成20年3月～令和 5年2月
(第1期)	平成20年3月～平成25年2月(5年間)
(第2期)	平成25年3月～平成30年2月(5年間)
(第3期)	平成30年3月～令和 5年2月(5年間)
超過課税	みやぎ発展税導入時の県税条例第41条に定める税率(法人事業税の標準税率)の5%相当額
適用法人	県内に事務所または事業所を設けて事業を行う法人(法人事業税に同じ) (※資本金または出資金が1億円以下かつ所得金額が4千万円以下の法人は対象外)

◆お問い合わせ先

宮城県経済商工観光部富県宮城推進室
〒980-8570

仙台市青葉区本町三丁目8-1

宮城県庁14階

TEL 022-211-2792

FAX 022-211-2719

E-mail fukensuis@pref.miyagi.lg.jp

会員異動状況 (令和元年10月1日以降の入会関係)

正会員-入会 賛助会員-入会

会員数 (正会員・・・184社 賛助会員・・・39社)

入会日	会員名 (代表者名)	住所 TEL・FAX
10月1日	(株)エンライズコーポレーション (代表取締役 CEO 吾郷 克洋)	〒980-0803 仙台市青葉区国分町1-4-9 enspace TEL 022-302-6422 FAX 022-302-6423
10月1日	オータス(株) (代表取締役 金子 昌弘)	〒980-0014 仙台市青葉区本町2-3-10 仙台北町ビル4F TEL 022-712-7570 FAX 022-712-7574
10月1日	(株)ベストサポートシステムズ (代表取締役 石塚 雄剛)	〒980-0869 仙台市宮城野区鉄砲町西1-14 富士フィルム仙台ビル8F TEL 022-794-8531 FAX 022-794-8532
10月1日	(株)ぶよぐやま (代表取締役 嘉村 爽太)	〒980-0803 仙台市青葉区国分町1-4-9 enspace TEL 080-3339-1870
10月28日	(株)テクノ情報システム (営業本部長 荒川 元)	〒980-0014 仙台市青葉区本町3-4-18 太陽生命仙台北町ビル5F TEL 022-399-8338 FAX 022-399-8339
12月16日	エヌ・ティ・ティ・データ・フォース(株) (代表取締役社長 小松 正人)	〒981-3206 仙台市泉区明通2-10-1 七十七銀行泉センター TEL 022-341-9662 FAX 022-377-8688
1月8日	(株)ミロク情報サービス (仙台支社長 櫻井 和宏)	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-1-1 大樹生命本町ビル17F TEL 022-225-0369 FAX 022-225-0368
4月1日	(株)イー・アール・シー (代表取締役社長 太田 貴之)	〒140-0011 東京都品川区東大井5-11-2 K-11ビル TEL 03-3450-3881 FAX 03-3450-3890
4月1日	富士電機ITソリューション(株)東北支店 (支店長 福嶋 晴彦)	〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-9-1 仙台トラストタワー16F TEL 022-265-2891 FAX 022-225-5360
4月1日	(株)仙台情報サービス (代表取締役 佐藤 元)	〒980-0023 仙台市青葉区北目町2-39 東北中心ビル3F TEL 022-398-7195 FAX 022-398-7199
4月4日	(株)アイウィル (代表取締役 金子 拓斗)	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-9-6 フージャース仙台北町ビル4F西2 TEL 022-302-4686 FAX 022-302-4685
4月14日	(株)DYM (仙台支店長 横山 祥平)	〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20 花京院スクエア20F TEL 022-797-5205
1月10日	(株)システムシェアード (営業部 部長 田窪 建太)	〒110-0016 東京都台東区台東1-6-4 タカラビル6F TEL 03-5812-7530 FAX 03-5812-7540

(敬称略)

MISAフォトコンテスト結果報告

MISA会報47号フォトコンテストに、会員企業9名の方より23作品のご応募をいただきました。入賞作品をご紹介します。

表紙に
掲載

グランプリ

「白石城と桜」

広報委員会 高橋 純司 様

準グランプリ

「朝霧」

東社シーテック株式会社
菊地 和雄 様



準グランプリ

「ヨハアケル」

株式会社トレック
柴崎 健一 様



第3回

IT あるある 川柳

MISA会報47号「ITあるある川柳」に、会員企業7名の方より17作品のご応募をいただきました。入賞作品をご紹介します。

👑 グランプリ

呑み過ぎて 財布の中が キャッシュレス(泣)

日本ユニシス株式会社 美内 正博 様

👑 準グランプリ

OSの アップグレードで SOS

東北ディーシーエス株式会社 柴崎 晃輔 様

👑 佳作

Web会議 スッピンばれる 4K5G!

システムニ科尔株式会社 田代 紀生 様

想定外 エラーの原因 裏仕様

東北ディーシーエス株式会社 内藤 智勝 様

納期きて ロで本番 乗り切った

株式会社ハイパーソリューション 武田 圭司 様